



平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 5 日

上場会社名 日本新薬株式会社

（コード番号 4516 東証・大証 各 1 部）

（URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 初山 一登

責任者役職・氏名 執行役員経理・財務部長 桜井 太郎

TEL (075) 321 - 1111

1. 四半期情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	14,032	2.9	1,525	12.5	1,724	4.1	1,134	66.2
平成 17 年 3 月期第 1 四半期	13,640	3.8	1,742	-	1,797	-	3,355	-
（参考）平成 17 年 3 月期	54,251		4,596		4,656		5,639	

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	16.63	-
平成 17 年 3 月期第 1 四半期	48.79	-
（参考）平成 17 年 3 月期	81.22	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成 17 年 3 月期第 1 四半期から開示を始めたため、平成 17 年 3 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

[売上高]

当第 1 四半期の連結売上高は、140 億 3 千 2 百万円（対前年同期比 2.9%増収）となりました。

医薬品事業におきましては、再発・難治性急性前骨髄球性白血病治療剤「アムノレイク」を 6 月に新発売しました。昨年 12 月に発売した再発・難治性急性前骨髄球性白血病治療剤「トリセノックス注」と同様に順調に推移しています。この 2 品目以外に、主力品である非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」、粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤「ガスロン N」、頻尿治療剤「ブラダロン」、抗アレルギー剤「リボスチン」

点眼液」、「同点鼻液」、アズレン含嗽液「アズノールうがい液」が売上伸長に寄与しました。他方、前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」、高血圧・狭心症治療剤「セレクトール」、ACE阻害剤「オドリック」の売上は伸び悩みましたが、こうした要因により、当第1四半期の売上高は115億2百万円となりました。

食品事業におきましては、健康食品分野への注力とたん白製剤製品群の伸長により、当第1四半期の売上高は25億3千万円となりました。

[営業利益]

営業費用におきましては、販売費及び一般管理費は前年同期比ほぼ横ばいですが、研究開発費が委託研究費の増加等により前年同期に比し3億2千万円増加し、当第1四半期の営業利益は15億2千5百万円（対前年同期比12.5%減益）となりました。

[経常利益]

営業外収益と費用の収支が利益1億9千8百万円となり、当第1四半期の経常利益は17億2千4百万円（対前年同期比4.1%減益）となりました。

[四半期純利益]

前年同四半期には厚生年金の代行返上に伴い37億6千8百万円の特別利益を計上しましたが、当第1四半期は特別利益を計上しておりませんので、当第1四半期の純利益は11億3千4百万円（対前年同期比66.2%減益）となりました。

[研究開発の状況]

申請中の過活動膀胱治療剤「ウレスパン」については追加臨床試験が順調に進んでいます。経口鎮痛剤「NS-315（一般名：塩酸トラマドール）」については癌性疼痛について申請前相談を行い、追加臨床試験を準備中です。久光製薬株式会社と共同開発中の吸入ステロイド剤「NS-126」についてはアレルギー性鼻炎で第三相試験を実施中で、癌性疼痛緩和テープ剤「HFT-290（一般名：クエン酸フェンタニル）」については、第三相試験の準備段階にあります。髄膜癌腫症治療剤「NS-101」およびアルコール依存症治療剤「NS-11（一般名：アカンプロセート）」についてはともに第一相試験を終了しました。

海外では、伊・アンジェリーニ社に導出した合成抗菌剤「プルリフロキサシン」が相互認証方式により欧州7カ国で4月に承認を得ました。経口抗癌剤「HMN-214」は米・アイバックス社による第一相試験が終了しました。肝癌治療剤「NS-9」は米国において第一相試験を自社で実施中です。独・アボゲファ社に導出した過活動膀胱治療剤「NS-8」は第一相試験が終了し、第二相試験を欧州で準備中です。スイス・ロシュ社へ導出した高脂血症治療剤「NS-220」は第一相試験が実施されています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	99,867	70,522	70.6	1,033.88
17年3月期第1四半期	106,754	70,279	65.8	1,021.81
(参考)17年3月期	98,909	70,009	70.8	1,025.26

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	133	622	902	15,802
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	2,804	504	6,393	15,951

(注) 四半期連結キャッシュ・フローの開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の総資産は998億6千7百万円となり、前会計年度末に比し9億5千8百万円増加しました。流動資産は現金及び預金、有価証券が減少しましたが、これら以外の資産が増加し564億7千万円となりました。固定資産は有形固定資産、投資有価証券等が減少し433億9千6百万円となりました。

負債は292億1千2百万円となり、前会計年度末に比し4億4千2百万円増加しました。流動負債は未払法人税等、未払金等が減少しましたが、賞与引当金が増加し143億6千8百万円となりました。固定負債は、長期借入金等が減少し、148億4千4百万円となりました。

資本は利益剰余金等の増加により、705億2千2百万円となりました。

株主資本比率は、70.6%と前会計年度末に比し0.2ポイント低下しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は158億2百万円となり、前会計年度末に比し1億4千8百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは1億3千3百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益17億2千4百万円、その他引当金の増加11億4千万円等であり、主なマイナス要因は、売上債権・棚卸資産・その他流動資産の増加13億7千1百万円、法人税等の支払額10億6千4百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは6億2千2百万円の収入となりました。主なプラス要因は有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入7億円であり、主なマイナス要因は有形固定資産取得による支出2億4千3百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは9億2百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額5億5千4百万円、長期借入金の返済3億2千3百万円等によるものです。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

当第1四半期の業績は概ね順調に推移しており、当期の中間期および通期の連結業績予想につきましては、平成17年5月13日の決算公表時と変更はありません。

[ご参考]

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	26,600	2,150	1,150
通期	54,300	3,600	1,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 26円39銭

・上記の予想は、本資料の発表日現在の入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	当連結第1四半期 (平成17. 4. 1から 平成17. 6.30まで)	比率 %	前連結第1四半期 (平成16. 4. 1から 平成16. 6.30まで)	比率 %	増 減	参考 前連結会計年度 (平成16. 4. 1から 平成17. 3.31まで)
売 上 高	14,032	100.0	13,640	100.0	+ 392	54,251
売 上 原 価	6,000	42.8	5,703	41.8	+ 297	23,150
返品調整引当金戻入額	8	0.1	4	0.0	+ 4	3
売 上 総 利 益	8,040	57.3	7,941	58.2	+ 99	31,103
販売費及び一般管理費	4,525	32.2	4,528	33.2	3	18,021
研 究 開 発 費	1,989	14.2	1,669	12.2	+ 320	8,485
営 業 利 益	1,525	10.9	1,742	12.8	217	4,596
営 業 外 収 益	300	2.1	200	1.5	+ 100	809
営 業 外 費 用	101	0.7	145	1.1	44	748
経 常 利 益	1,724	12.3	1,797	13.2	73	4,656
特 別 利 益	-	-	3,768	27.6	3,768	5,151
特 別 損 失	-	-	-	-	-	178
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,724	12.3	5,566	40.8	3,842	9,629
法人税・住民税及び事業税	1,013	7.2	1,200	8.8	187	2,012
法 人 税 等 調 整 額	426	3.0	1,002	7.3	1,428	1,990
少 数 株 主 利 益	3	0.0	8	0.1	5	12
四半期(当期)純利益	1,134	8.1	3,355	24.6	2,221	5,639

四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	当連結 第1四半期末 (平成17.6.30)	比率 %	前連結 第1四半期末 (平成16.6.30)	比率 %	参考 前連結 会計年度末 (平成17.3.31)	比率 %	対前連結 会計年度末 増減
資産の部	99,867	100.0	106,754	100.0	98,909	100.0	+ 958
流動資産	56,470	56.5	59,172	55.4	55,023	55.6	+ 1,447
現金及び預金	15,401		20,437		15,550		149
受取手形及び売掛金	26,176		23,881		25,781		+ 395
有価証券	1,100		2,800		1,300		200
棚卸資産	8,770		8,277		8,495		+ 275
繰延税金資産	2,072		2,031		1,646		+ 426
その他	2,949		1,745		2,248		+ 701
貸倒引当金	0		0		0		+ 0
固定資産	43,396	43.5	47,581	44.6	43,886	44.4	490
有形固定資産	22,197	22.2	25,018	23.4	22,330	22.6	133
建物及び構築物	10,326		11,784		10,314		+ 12
土地	8,318		8,823		8,350		32
その他	3,552		4,410		3,665		113
無形固定資産	483	0.5	837	0.8	573	0.6	90
投資その他の資産	20,716	20.8	21,726	20.4	20,982	21.2	266
投資有価証券	15,060		17,211		15,315		255
繰延税金資産	51		43		60		9
投資不動産	1,352		-		1,343		+ 9
その他	4,293		4,512		4,304		11
貸倒引当金	41		40		41		-
合 計	99,867	100.0	106,754	100.0	98,909	100.0	+ 958

(単位 百万円)

科 目	当連結 第1四半期末 (平成17.6.30)	比率 %	前連結 第1四半期末 (平成16.6.30)	比率 %	参考 前連結 会計年度末 (平成17.3.31)	比率 %	対前連結 会計年度末 増減
負債の部	29,212	29.3	36,324	34.1	28,770	29.1	+ 442
流動負債	14,368	14.4	18,540	17.4	13,541	13.7	+ 827
支払手形及び買掛金	3,697		2,767		3,711		14
短期借入金	30		4,010		50		20
一年内返済予定長期借入金	1,299		1,294		1,297		+ 2
未払法人税等	1,063		1,242		1,174		111
未払金	2,838		3,649		3,077		239
賞与引当金	3,497		3,472		2,348		+ 1,149
返品調整引当金	13		21		22		9
その他	1,928		2,083		1,860		+ 68
固定負債	14,844	14.9	17,783	16.7	15,228	15.4	384
長期借入金	3,344		4,624		3,670		326
退職給付引当金	10,750		12,109		10,895		145
役員退職慰労引当金	11		253		303		292
連結調整勘定	3		3		3		+ 0
その他	734		791		355		+ 379
少数株主持分	131	0.1	150	0.1	129	0.1	+ 2
資本の部	70,522	70.6	70,279	65.8	70,009	70.8	+ 513
資本金	5,174	5.2	5,174	4.8	5,174	5.2	+ 0
資本剰余金	4,439	4.4	4,438	4.2	4,439	4.5	+ 0
利益剰余金	56,891	57.0	54,575	51.1	56,515	57.1	+ 376
その他有価証券評価差額金	5,357	5.3	6,987	6.5	5,218	5.3	+ 139
為替換算調整勘定	9	0.0	10	0.0	11	0.0	+ 2
自己株式	1,330	1.3	885	0.8	1,325	1.3	5
合 計	99,867	100.0	106,754	100.0	98,909	100.0	+ 958

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	参考
	当連結第1四半期 平成17.4.1から 平成17.6.30まで	前連結会計年度 平成16.4.1から 平成17.3.31まで
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,724	9,629
2 減価償却費	647	3,016
3 連結調整勘定償却額	0	0
4 退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の増減額(減少:)	436	5,159
5 その他引当金の増減額(減少:)	1,140	3
6 受取利息及び受取配当金	102	200
7 支払利息	16	90
8 有形固定資産売却益	-	1,369
9 売上債権の増減額(増加:)	394	2,085
10 棚卸資産の増減額(増加:)	274	428
11 その他流動資産の増減額(増加:)	701	839
12 仕入債務の増減額(減少:)	2	288
13 未払消費税等の増減額(減少:)	12	1
14 その他流動負債の増減額(減少:)	439	890
15 役員賞与の支払額	76	58
16 その他	1	306
小 計	1,109	4,935
17 利息及び配当金の受取額	104	202
18 利息の支払額	16	90
19 法人税等の支払額	1,064	2,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	133	2,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 定期預金の預入による支出	40	120
2 定期預金の払戻による収入	40	120
3 長期性預金の預入による支出	-	200
4 長期性預金の払戻による収入	100	100
5 有価証券の売却・償還による収入	500	2,300
6 投資有価証券の取得による支出	7	1,709
7 投資有価証券の売却・償還による収入	200	5
8 有形固定資産の取得による支出	243	1,646
9 有形固定資産の売却による収入	-	1,569
10 無形固定資産の取得による支出	1	110
11 貸付けによる支出	6	82
12 貸付金の回収による収入	30	114
13 投資不動産の取得による支出	-	733
14 その他投資(契約金)の支払	241	264
15 その他	292	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	622	504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入金増減額(減少:)	20	3,980
2 長期借入れによる収入	-	20
3 長期借入金の返済	323	1,297
4 配当金の支払額	554	688
5 その他	4	448
財務活動によるキャッシュ・フロー	902	6,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	13
現金及び現金同等物の増減額	148	4,080
現金及び現金同等物の期首残高	15,951	20,031
現金及び現金同等物の期末残高	15,802	15,951

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当連結第1四半期（平成17年4月1日から平成17年6月30日まで） （単位 百万円）

	医薬品	食 品	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
外部顧客に対する売上高	11,502	2,530	14,032	-	14,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	-	1	(1)	-
計	11,503	2,530	14,033	(1)	14,032
営業費用	10,036	2,471	12,508	(1)	12,507
営業利益	1,466	58	1,525	(-)	1,525

前連結会計年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで） （単位 百万円）

	医薬品	食 品	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
外部顧客に対する売上高	45,036	9,214	54,251	-	54,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	-	4	(4)	-
計	45,041	9,214	54,256	(4)	54,251
営業費用	40,531	9,128	49,660	(4)	49,655
営業利益	4,510	85	4,596	(-)	4,596

(注) 1. 事業区分は、販売方法および製品の種類、性質、製造方法の類似性を考慮して区分しております。

2. 事業区分に属する主要な製品

事業区分	主 要 製 品 名
医 薬 品	神経系及び呼吸器用薬剤、循環器系及び代謝性薬剤、泌尿器用薬剤、消化器用薬剤、その他
食 品	調味・香辛料、品質安定保存剤、たん白製剤、除菌・洗浄剤、小麦製品、健康食品素材、その他

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の金額の合計額に占める本邦の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

主力製品売上高

平成17年8月5日
日本新薬株式会社

(単位:百万円)

製品名	薬効	H17年3月期	H18年3月期				
		第1四半期	第1四半期	前年同期増減率	中間期予想	対中間予想進捗率	通期予想
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	1,745	1,686	3.4%	3,200	52.7%	6,400
ハイベン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	1,252	1,320	5.4%	2,500	52.8%	5,000
セレクトール	高血圧・狭心症治療剤 腎実質性高血圧症治療剤	1,145	1,099	4.0%	2,100	52.3%	4,100
ブラダロン類	頻尿治療剤	977	1,058	8.3%	1,950	54.3%	3,900
ガスロンN類	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	941	964	2.4%	1,800	53.6%	3,600
エストラサイト	前立腺癌治療剤	831	797	4.1%	1,550	51.4%	3,100
セファドール類	抗めまい剤	790	792	0.3%	1,500	52.8%	3,000
キロサイド類	癌多剤併用療法代謝拮抗剤 再発又は難治性急性白血病治療剤	721	660	8.5%	1,400	47.1%	2,750
レフトーゼ類	出血抑制消炎酵素剤	621	601	3.2%	1,000	60.1%	2,350
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	283	346	22.3%	600	57.7%	1,500
オークル	抗リウマチ剤	339	301	11.2%	550	54.7%	1,100
オドリック	ACE阻害剤	279	244	12.5%	500	48.8%	950
リボスチン点眼液	抗アレルギー点眼液	192	229	19.3%	400	57.3%	1,500
リボスチン点鼻液	抗アレルギー点鼻液	92	128	39.1%	250	51.2%	800
グリコラン	経口糖尿病用剤	140	204	45.7%	400	51.0%	800
ポルトラック	高アンモニア血症治療剤	142	134	5.6%	250	53.6%	500
医薬品計		11,355	11,502	1.3%	21,800	52.8%	44,900
食品計		2,285	2,530	10.7%	4,800	52.7%	9,400
売上高		13,640	14,032	2.9%	26,600	52.8%	54,300

製品開発状況

平成17年8月5日現在
日本新薬株式会社

< 国内開発状況 >

開発段階	商 品 名 (一 般 名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請中	ウレスパン (塩酸テミパリン)	泌尿器系	過活動膀胱	自社	自社
開発段階	治 験 (一 般 名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
P	NS - 315 (塩酸トラマトール)	炎症・ アルキニ系	癌性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)	導入： グリネタル社 (独)	自社
P	NS - 126	炎症・ アルキニ系	アルキニ-性鼻炎	導入：IIXI製薬	共同：久光製薬
P			気管支喘息		
P 準備中	HFT - 290 (ケン酸フェンタニル)	炎症・ アルキニ系	癌性疼痛 (麻薬性鎮痛剤)	導入：久光製薬	共同：久光製薬
P	TRK - 091 (塩酸トラマトールSR)	炎症・ アルキニ系	整外領域慢性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)	導入：東レ	共同：東レ
P	NS - 8	泌尿器系	過活動膀胱	自社	自社
P	NS - 101 (シタレピン)	化学療法剤	髄膜癌腫症	導入： スカイアルマ社 (英)	自社
P	NS - 11 (アカンテト)	その他	アルコール依存症	導入： メルカンテ社(仏)	自社

< 海外開発状況 >

開発段階	治 験 (一 般 名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
P	NM441 (プルリカキサシ)	化学療法剤	合成抗菌剤	自社	導出： 柳韓洋行社(韓)
					導出： オプティマ社(米)
P 準備中	NS - 8	泌尿器系	過活動膀胱	自社	導出： アボゲファ社(独)
P	HMN - 214	化学療法剤	固形癌	自社	導出： アイバックス社(米)
P	NS - 9	化学療法剤	肝癌(転移性肝癌)	自社	自社：米国
P	NS - 220	循環代謝系	高脂血症	自社	導出： ロシュ社(スイ)

製品開発状況・補足資料

平成17年8月5日現在
日本新薬株式会社

申請中	
ウレスパン (塩酸テミパリン)	自社開発した抗コリン作用を有する過活動膀胱治療剤。既存品に比し、ムスカリンM3受容体に選択的な作用を示し、抗コリン性の副作用が少ないことが特長。一日一回投与製剤。97年3月申請、審査中。欧州で追加臨床試験を終了し、国内で追加臨床試験中。
フェーズ	
NS-315 (塩酸トラマトール)	(独)グリュエネンター社から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。NSAIDsとモルヒネの中間に位置する鎮痛剤として、癌性疼痛を対象に開発。申請前相談での指摘により追加臨床試験準備中。ヤンセンファーマ社と共同開発契約締結(2005年2月)。
NS-126	エスエス製薬から導入し、久光製薬と共同開発を進めている吸入ステロイド剤で、一日一回投与を目指す。アレルギー性鼻炎についてP試験中。気管支喘息についても開発、Phase試験終了。
フェーズ 準備中	
HFT-290 (ケイ酸フェンタニル)	癌性疼痛の緩和を目的とした強オピオイドで、久光製薬から導入し、Phase段階からの共同開発。経皮吸収製剤技術による一日一回貼付のテープ剤。
フェーズ	
TRK-091 (塩酸トラマトールSR)	東レから導入したトラマトールの一日一回投与の徐放剤で整形外科領域の慢性疼痛を適応として共同開発。現在Phase段階。
フェーズ	
NS-8	自社開発した新規作用機序の過活動膀胱治療剤。膀胱選択的なCa ⁺⁺ 依存性Kチャンネルオープナーで、心血管系に影響が少なく、抗コリン作用は無い。膀胱収縮圧を低下させることなく膀胱容量を増大させ、残尿の少ない過活動膀胱治療剤として期待。徐放剤として欧州で臨床薬理試験を終了し、一昨年アボゲファ社へ導出。欧州でPhase試験開始に向け準備中。
HMN-214	自社開発した新規作用機序を有するプロドラッグ型経口抗癌剤で、細胞分裂装置複合体に作用し、細胞周期のM期を阻害してアポトーシスを誘導する。多剤耐性形質(MDR-1)を抑制し、耐性癌に対する薬効を改善する特長を有する。動物モデルで各種の固形癌に対して幅広い抗腫瘍作用を示す。米国でPhase試験を終了。昨年9月に米国アイバックス社へ導出。
NS-9	自社開発したpolyI・polyCのカチオニックリポソーム製剤で、肝臓への集積効果が高く、肝癌治療剤として開発。癌細胞に特異的に移行し、ヌクレアーゼを活性化してアポトーシスを誘導する。現在、米国でPhase試験を実施中。
NS-101 (シタラビン)	シタラビンの徐放性製剤で2週間に一度の間歇髄腔内投与剤。髄膜癌腫症治療剤として(英)スカイファルマ社から導入。Phase試験終了。
NS-11 (アカプロピト)	一昨年5月に(仏)メルクサンテ社から導入したアルコール依存症治療剤で、既に欧州では発売され、米国でも昨年7月に承認、1月から発売。国内ではPhase試験終了。
NS-220	高選択的かつ強力なPPAR α アゴニストでHDL上昇作用とTG低下作用を併せ持つ高脂血症治療剤で、高血糖改善作用も確認されており、特に糖尿病に伴う脂質代謝改善剤として高い有用性が期待される。一昨年9月ロシュ社への導出契約を締結。昨年12月より欧州にてPhase試験実施中。